

第1回 おかざきこども会議 記録

◆テーマ

「幅広い世代のたくさんの人に、伝統芸能の楽しさを知ってもらうための作戦を考える」

◆開催概要

日時：2025年9月28日（日）9:30—12:00

会場：岡崎市図書館交流プラザ りぶら

◆参加者

こども委員：7名 大学生ボランティア：6名 大人スタッフ：10名

◆会議の内容



[1] 仲良くなるワークショップ ☆進行：佐藤大雅^{たいが}

おしゃべりトレジャーハント

プロフィールカードに自己紹介を記入したあと、歩き回って他の人たちと情報交換^{じょうほうこうかん}。たくさんの人の名前や好きなもの、岡崎市のお気に入りスポットなどを伝え合いました。

グループの進行を担当する大学生も一緒に参加し、世代を超えて仲良くなることができました。

[2] 子ども・若者が意見を言うことの大切さについてのお話 ☆担当：小島紫^{ゆかり}

[3] こども会議についての説明、課題についての説明

☆担当：岡崎市こども育成課、文化振興課^{しんこう}

おかざきこども会議の目的や、なぜこの会議をするのかについてのお話を聞きました。

その後、たくさんの写真やクイズを交えながら、岡崎市の伝統文化について説明を受け、この会議で期待される自分たちの役割についても知ることができました。



[4] グループ分けワークショップ ☆進行：蟹江哲太郎^{かにえてつたろう}

バースデーライン

言葉を使わずにコミュニケーションをとりながら、誕生日順に並んで一つの円を作りました。最初はどちらがいいか困っていた委員たちも、次第に足や表情、身振り手振りを使って誕生日を表現、円になることができました。この円を使って、今後の発表に向けたグループを作りました。



[5] 自分の“楽しいこと”を振り返り、共有するワーク ☆進行：蟹江哲太郎^{かにえてつたろう}

4つのテーマについて、アイデアをどんどん出し合い、その数を競いました。遊びといえば？ 岡崎といえば？ 文化といえば？ など、難しいテーマについてもたくさんの意見が出て、活発な話し合いが行われました。

委員のみんなの発想の豊かさが存分に発揮^{はっぴ}されました。



◆宿題：①おかざきこども会の愛称の案を考える

②おかざきの伝統文化を知ってもらうための作戦を考えよう！